

# 海女サミット

## 2015 in 鳥羽

Ama Summit

太古の昔から海を仕事場とし、素潜りで豊かな海の恵みであるアワビ・サザエをはじめとする魚介類や海藻の採取技術を伝承してきた「海女」。  
生命の源である美しい里海を守り、伝統を守りながら生活する「海女」を貴重な文化遺産としてとらえ、全国に発信するため「海女サミット2015 in 鳥羽」を開催します。

～全国の海女が鳥羽に集合～

海女サミット実行委員会（農水商工課水産係内）

☎ 25 1167

### 11月6日 金 鳥羽商工会議所3階・かもめホール

13:00～開会

13:15～14:15 日韓海女フォーラム

記念講演① 「韓国海女との交流」  
講師 伊地知紀子 大阪市立大学教授

記念講演② 「日本海女との交流」  
講師 安美貞 韓国海洋大学教授

14:30～16:00 日韓海女の集い

テーマ「日韓海女の友好交流に期待する」

コーディネーター 塚本明 三重大大学教授

つかもと あきら

ユヒヨンスク

劉亨淑 韓国・東義大学教授

パネリスト 林伯衍 濟州下道里漁村契長

イムベクヨン

ふじわら たかひと

藤原隆仁 鳥羽磯部漁業協同組合常務理事

日韓海女4人

### 11月7日 土 答志コミュニティアリーナ

8:30～9:30 記念放流

海女さんによるアワビ稚貝の記念放流を行います

10:15～開会

10:30～11:30 円卓会議

テーマ「海女は素晴らしい女性」

ゲストスピーカーと海女10人が語り合います

11:45～12:30 海女さんセッション

テーマ「海女大いに語る」

全国の海女さん15人が、それぞれの地域の海女文化や漁法などについて意見交換を行います

大会宣言

12:30～12:45 「海女文化をユネスコへ」

里海を創る海女の会 会長

## 海女振興の取り組み

鳥羽は、木曾三川から流れ出る淡水と伊勢湾口の海水が融合することから、全国でも有数の漁場が形成され、全国最多となる500人を超える「海女」が潜業しています。海女の歴史は古く、縄文時代や弥生時代の貝塚からは、大きなアワビ貝や、それを採るために使ったと思われる鹿の角を加工した道具が発見されていることから、男女の別は分からないにしても、古代から受け継がれている漁法であることが分かっています。また、海女たちが漁の前後に火にあたり、身体を温めながら談笑する海女小屋で地元海女が観光客をおもてなし

する「海女小屋体験」の取り組みが各地で行われており、近年都市部や外国からの観光客にも人気を博しています。しかしながら、さまざまな環境の変化により、海の資源は年々減少傾向にあり、海女の後継者不足と高齢化が課題となっています。このようなことから、市では同じく海女の多い志摩市と協力しながら、この貴重な海女を絶やさないために、保存継承活動を行いながら、漁業面、文化面、観光面において更に振興し、地域活性化につなげていくための取り組みを行っています。